

日向薬師 宝城坊の解説



宗 派 / 高野山真言宗

法 要 日 / 4月15日 春季本尊開扉大法会

本尊開扉日 / 1月1・2・3日・8日初薬師・4月15日例大祭

住 所 / 神奈川県伊勢原市日向1644

電 話 番 号 / 0463-95-1416

交 通 / 小田急線 伊勢原駅北口3番乗場より日向薬師行きバス
終点下車 徒歩20分

※雨天・雪など天候悪化の場合は閉門となります。

天候が不安定な場合はお電話にてお問い合わせ下さい。

参拝の御案内(開門時間帯)

4月～10月 午前9時～午後17時

11月～3月 午前10時～午後16時

※年末・正月は特別時間帯になりますのでお問い合わせ下さい

この寺は元正天皇の靈龜二年（西七一六）二月行基菩薩が開創したと伝えられ、靈山寺と呼ばれておりました。が後に宝城坊と呼ばれるようになりました。今では日向薬師と略称され、世に広く知られ親しまれています。本尊は行基菩薩が四十二才のとき一刀三札のもとに彌彌安置されました薬師如来であります。

開創以来歴代天皇の御帰依深く元正天皇は詔して堂宇を造宮なされ勅願寺とされました。天歷六年（西九五二）二月村上天皇は口經二尺一寸梵鐘を寄進なされ、後一条天皇（六十六代）は勅額を下賜されました。近衛天皇（七十六代）は仁平三年（西一一五三）二月五日院宣を以て口經二尺五寸の梵鐘に改鑄され、光明天皇は歴応三年十二月五日大和権守物部光連に命じて口經二尺六寸の梵鐘を鑄造させ現存しています。後円融天皇（一一〇〇代）には康歎二年九月三河遠江両国の棟別銘を以て堂宇を修造するようおことばを給わりました。

二年（西一六八八）大修補し、其の後延享二年（西一七四四）修理を加えて今日に至っています。本尊の開扉は十二年に一度「トラン」に開く習を以ていていますが、今日では正月三ヶ日、初薬師一月八日、四月十五日大法会には開扉して拝観していただいております。

薬師如來の功德

お薬師さまとは、一名瑠璃光如来ともいい、淨土は東方淨瑠璃淨土で、この淨土の教主です。

薬師如来は、また大医王仏ともいわれ、除病延寿、衣食満足等の十二の誓願を持ち衆生の病患を救い、光を失つた眼に天來の光を授け、法薬を与えるなど、諸悪病を除くばかりか、除産苦、求子、返咲咀等の七難を除去してくださる等、現実的な利益を信者にお与えになる仏さまです。薬師さまの淨土には多くの菩薩が住み、如来について法を学んでいるが、日光、月光、両菩薩が上首に位し、如来の両脇にお立ちになっています。また薬師さまには眷属として十二神将がつき随つていらっしゃいます。薬師如来の十二の本願を護持するとともに、この如來の信仰者を守護してくださる薬叉神です。四天王は仏教における四方鎮護の天で、国土の四方を守護します。本尊の薬師如来は鉢影と呼ばれる手法で関東地方を中心によつられています。素朴な感じを受けますが、すばらしい姿をしておられます。

さして来し、日向の山を頼む身は、目も明らかに見えざらめやは
大江公資の妻相模が読した哥

宝物殿仏像安置の図

(鎌倉期) 十一神將の内	
○多聞天	○持國天
尊日光菩薩	本薬師如來
月光菩薩	○廣長天
(鎌倉期)	○增加天
○因陀羅大將(午神)	十一神將の内
波叉羅大將(未神)	鹿鳴虎將(申神)
波叉羅大將(酉神)	直達羅大將(戌神)
招木羅大將(亥神)	比毘羅大將(亥神)
比毘羅大將(亥神)	比毘羅大將(亥神)

阿弥陀如來

一、本尊薬師如來
一、阿彌陀如來座像
一、日光菩薩立像
一、月光菩薩立像
一、四天王立像
二、十二神將立像
一、厨子一棟(室町期)
一、梵鐘(鎌倉元治三年)
一、本堂一棟
△ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

(e)

代言

代安